

# モザイク平板製作マニュアル作成事業

特定非営利活動法人 エコ平板・防塵マスク支援協会  
〒277-0033 千葉県柏市増尾 177 番地

## 助成事業の概要

当 NPO で製法の特許権を有し、知的障がい者のための仕事として確保されているモザイク平板は、製作を希望する作業所が増えるにつれ、作業所指導員自身の技能と意欲が製作事業の結果に大きく影響することが判明。工学的知識のない福祉関係者に平板の成り立ちから製作の実践、施工例までをマニュアルの形で、学習してもらうことが急務となった。指導員認定試験の内容整備も含め、本事業の実施により、製作の手引作成が実現した。

平成 23 年 5 月より、モザイク平板の考案者橋田、モザイクデザイナー和田、柏作業所の専属指導員有坂の 3 名（すべて知的障がい者への指導経験数年以上）で事業計画（写真撮影も含む担当決め）を進めた。

7 月に社会福祉法人ふしの学園（山口市）、10 月に静岡県立静岡北特別支援学校高等部にて、聞き取り及び実践状況調査を実施。結果を踏まえ、討論を重ねた上で、写真の選別、原稿作成を行った。平成 24 年 2 月末最終原稿が完成。校正作業を経て 3 月 100 冊印刷製本。

## 事業の成果

現在モザイク平板製作に携わっている作業所のうち、工学的知識や建設関連の経験を有する指導員が在職するのはたった 1 カ所であり（上田市 NPO 気塾）、そこでさえも直接出張指導以外にメールによる製作品の写真確認などで細かい指導を行わないと、JIS 規格に適い、デザインの要求

を満たし、施工現場で問題なく使用できる製作品を継続的に作ることは難しい。本事業で製作手引書ができたおかげで、全作業所の指導員向けに配布し、その結果質疑応答もスムーズになったため、指導員の作業の方向づけが容易になった。

福祉作業所の通所者のみならず指導員の中にも、従来作業所で製作されてきた単純作業による製品の低い評価に慣れ、新しい平板事業導入時にモチベーションを高く持つことがむずかしい者が少なからず存在したが、手引書によって小さな平板が組み合わされて使用される施工の写真や海外での取り組み例も見ることができ、誇りと意欲を引き出す効果も見られている。一方製作の現場だけではなく、手引書は、県や市や公園緑地課、道路建設課、都市機構、民間の建設会社等に施工現場の提供を求めて活動する際、モザイク平板への理解を得るための有効なツールとしても機能しているのは、予想外の成果と言える。

また、指導員認定試験を設けてその内容を明示できたこと、技能レベルを段階別に設定したことにより、通所者の能力に応じた指導や個々が具体的な目標を持って作業に取り組むことが可能になった。作業導入以降の取り組みが曖昧な「精神論」でなく、通所者に分かりやすい目に見える形で進められる意義は大きい。

当事業と並行して、コンクリートではなく、レンガの中にモザイクを埋め込むもの、震災による津波で発生した瓦礫木材を活用した木のモザイク等の開発を行い、一部紹介できたが、今後の課題としては、この 2 つの小型モザイク製作上の細かい注意点等を網羅した基礎的な記述も必要に

なってくる点が挙げられる。

## ■ 今後の展開

---

上述の瓦礫木材を使用した「木のモザイク」の製作は、すでに被災地仙台の社会福祉協議会に属する作業所が取り組みを決定しており、今後指導員研修を含めた事業に手引書の活用が予定されている。また知的障がい者以外に施工場所の地域住民がモザイク製作に参加するプロジェクトも実現（松戸市戸定邸道路）。参加市民への指導にも手引きは大きく役立っている。障がい者と共に市民が製作に参加するプロジェクトは、公共工事の場面で今後も増えることが予想され、健常者と障がい者の真の共生につながると期待される。